

横芝町の人口と世帯

〈7月1日現在〉

人口	12,922 (+23)
男	6,273 (+21)
女	6,649 (+2)
世帯数	3,208 (+15)
() 内は前月比	



広報

横芝

第119号

昭和49年8月1日

発行所

山武郡横芝町横芝636番地

横芝町役場

電話 04798-2-1111(代)

郵便番号 289-17



七月七日に行われた参議院議員選挙は、曇り空で有権者の出足が危ぶまれましたが、物価問題等の政治課題をかかえた選挙だけに、横芝町でも、有権者の国政に対する関心は高く七五、九%と前回(46年の参院選)を二二%も上回る良い投票率でした。

投票所別の投票状況および参議院地方区の得票状況は別表のとおりです。なを、投票・得票状況は町選管発表の数値です。

国政への関心が高く
参院選では初の良い投票率
(町投票率七六%)

町収入役に 本間重寿氏が就任



横芝町収入役に本間重寿氏が選任され、七月十二日から就任します。

さわり、その後十三年には旧横芝町役場に就職、途中太平洋戦争に応召し、陸軍曹長として活躍、再び役場に復職し税務・産業課長から老人ホーム院長を歴任し地方自治振興のため尽力されましたが、今回その勤勉な業績と実直な人柄を買われ、収入役に選ばれたものです。

参議院千葉県選出議員開票結果

候補者の氏名	党派	得票数
佐藤二郎	日本共産党	283
渡辺一太郎	自由民主党	1,511
高橋たかよし	自由民主党	1,993
赤桐操	日本社会党	1,398
長谷長次	無所属	37
つるおか洋	公明党	1,493

参議院議員選挙投票所別投票結果

投票所	当日有権者	投票者数	投票率
立会	534	392	73.41
上小(体)	1,363	1,017	74.61
栗山(青)	887	699	78.80
東町(児)	1,530	1,209	79.02
鳥喰新田	790	615	77.85
中央公民館	1,882	1,490	79.17
寺方(青)	956	702	73.43
大小(体)	1,144	772	67.48
計	9,086	6,896	75.90

叙勲

旧横芝町長
押尾真澄氏に

横芝町鳥喰下の故押尾真澄氏に從六位勲五等瑞宝章が贈られました。この叙勲は、若千二十七才にして町収入役に推挙され、やがて町長を歴任、その間地方自治進展育成に捧げられた功績によるものです。

新収入役に

本間重寿氏

七月臨時議会

去る七月十一日午後二時から町議会臨時会が招集されました。

本議会には、欠員となっていた収入役の選任の同意、そのほか五件の議案が提出され、審議の結果各議案ともに原案どおり可決されました。

議案の概要つぎのとおり

▼国民保健センター設置および管理に関する条例の一部改正

保養センターの使用料が七月十一日から(既予約者は従前の料金)次のように変更されました

保養センターの新使用料

使用者区分	1日1人の憩料	個室料	会議室料
一般	400円	1室当り1半 500円	1室当り1半 1,000円
中学校生徒	300円	1日 1,000円	1日 2,000円
小学校児童	300円	無料	
幼児	無料		

△昭和四十九年度一般会計補正予算議定。

一般会計予算の補正(第一号)をするもので、歳入歳出ともに

消防費 九六万円
教育費 一九七万三千元

▼収入役の選任同意

収入役に、本間重寿氏(横芝四八五)を選任するため同意を求めたもので、満場一致で承認されました。

▽町の境界変更

松尾町の県営ほ場整備事業に伴って、本町鳥喰地先と松尾町との境界を変更するもの、面積の異動なし。

▽国民健康保険条例の一部改正

▽高令者医療の助成に関する条例の一部改正
ともに条文の整備をしたもの

- 一、二七九万一千円を追加し、総予算額を一一億五、六九九万一千円とするもの、款別の補正額つぎのとおり、
- 総務費 四、〇〇万円
- 民生費 七六万円
- 衛生費 三五万六千元
- 農林水産業費 七四万六千元
- 商工費 九万一千円
- 土木費 二九〇万五千元

先般、皆さんにご紹介しました「横芝町史」は、すでに一五〇冊の申込みをいただきありがとうございます。

今回発行する「横芝町史」は二千五百円

(予価)のところ町からの補助(千円)があるため千五百円という安価でお買い求めいただけます。



本が出てからのお買い求めは不可能な場合もありますので是非一戸に一冊はお買い求め下さいませようお申込み 八月末日 申込先 役場企画課

町議補選で

吉岡実氏が当選

横芝町議会議員補欠選挙(大総地区)は十七日告示、同日及び十八日の両日、立候補者の届出が行

われしました。この結果、十八日午後五時迄に届出のあったのは吉岡実氏(三八才・木材業)一名のみのため公選法百条一項により投票は行わず無投票当選となりました。

胃ガン集団検診

月日	実施場所	対象地区
8/22	上界小学校	尾形全区・三軒家
23	上界小学校	新島・北清水全区(三軒家を除く)
26	大総小学校	町原・木戸台・小塊・取立・姥山・中台・牛熊・谷台
27	横芝町役場	栗山全区・上町1・寺方
28	横芝町役場	鳥喰全区・上町2・於幾
29	横芝町役場	東町全区・上町3・古川・両国・曾根合
30	横芝町役場	本町全区・上町4・長倉・坂田

- 料金 200円(当日持参のこと)
- 受付時間 午前8時~10時
- 検診前日の夕食は軽くとり、当日の朝食は絶対にとらないこと。
- 下着だけになれる準備でおいで下さい。
- 申込みをしなかった方でも当日上記のことを守っておいでになれば受診出来ます。

三万円を超えた医療費は国保で

横芝町国民健康保険では、今年四月一日から高額療養費支給制度(同一医療機関で同一人が一ヶ月に三万円を超えて医療費を支払った場合超過分を国保が支給する)を始めました。この制度の詳細については、広報一四号に掲載したとおりですが、もう一度その概要についてお知らせいたします。

一、高額療養費の対象となるのは保険診療分だけであり、保険診療外(特別室料、歯科で認められている差額徴収等)は対象となりません。

二、高額療養費は一人の被保険者が同じ月内に同じ医療機関(入院通院・歯科は別)において、その医療機関に支払った保険診療の自己負担金が三万円を超えたときにその超えた額を支給します。

三、高額療養費は、医療機関から出される診療報酬請求明細書によって支払うので、実際にもらうのは診療を受けた月から二ヶ月程度先になります。

四、高額療養費の申請用紙は、役場(国保係)に用意してありますので、印かんと領収書(あれば)を持参して福祉保健課国保係までおいで下さい。

農用地の用途指定決る

優良農地の確保は万全

横芝町の農業振興地域整備計画が五月三十一日付で認可になり、施行されることになりました。

今後は、指定を受けた一五七〇

ha(田一〇二〇ha、畑五二五ha、

樹園地二三ha)については、農業

を推進する区域として今後十年間

は宅地等の農用以外の用地に転用

することは認められません。

また、指定を受けた農用地区域

には、農業を育成するための補助

金や助成措置などがありますが、

今回除外となった区域では、これ

らの補助や助成は受けられません

この整備計画は農用地利用計画、

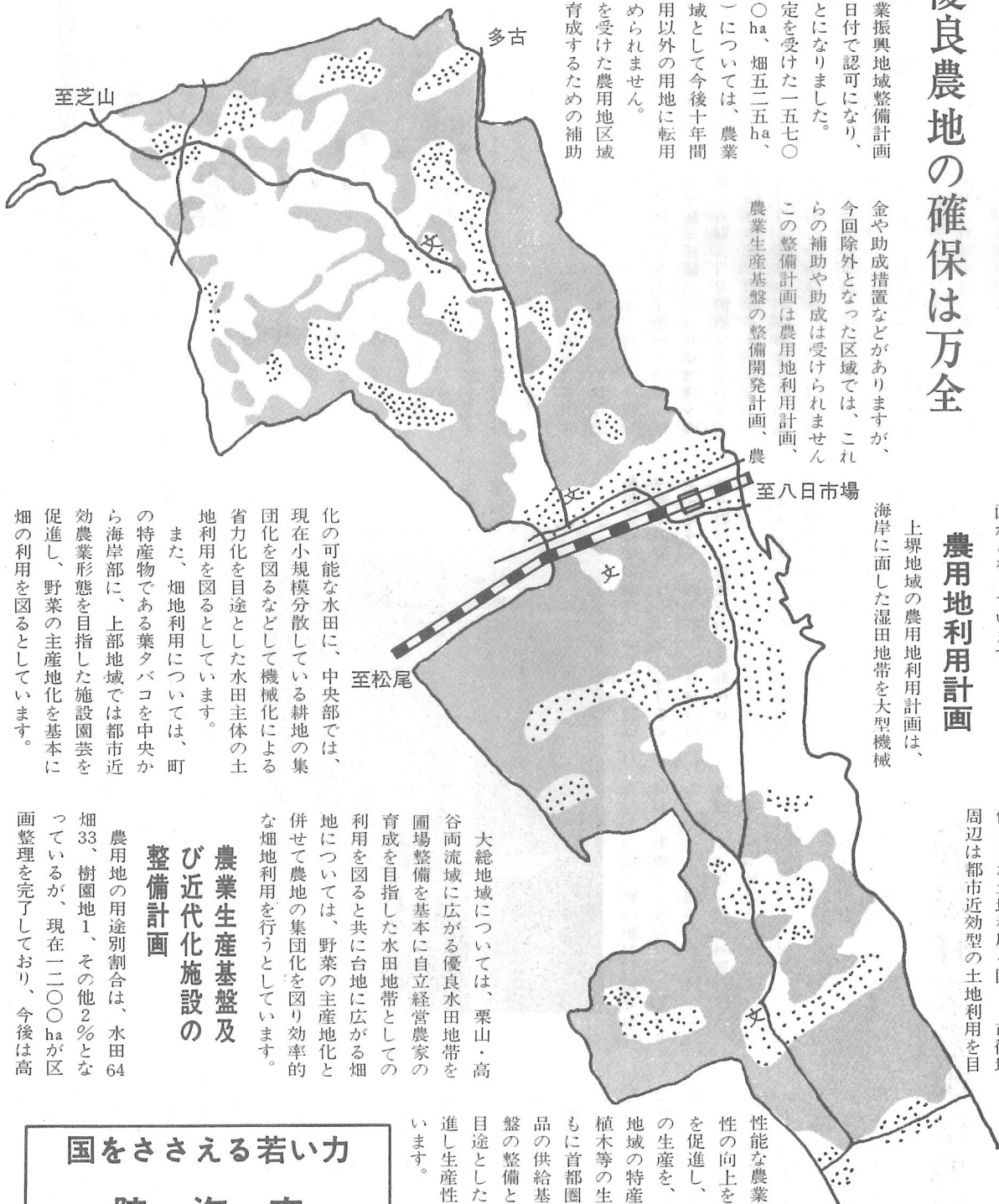
農業生産基盤の整備開発計画、農

用地等の権利取得の円滑化計画、
農業近代化施設の整備計画の四計
画からなっています。

農用地利用計画

上塚地域の農用地利用計画は、
海岸に面した湿地地帯を大型機械

横芝地域については、水利に恵
まれた粟山、鳥喰地帯は水稻を主
体とした土地利用を図り、市街地
周辺は都市近郊型の土地利用を目



化の可能な水田に、中央部では、
現在小規模分散している耕地の集
団化を図るなどして機械化による
省力化を目的とした水田主体の土
地利用を図るとしています。

また、畑地利用については、町
の特産物である葉タバコを中央か
ら海岸部に、上部地域では都市近
郊農業形態を目指した施設園芸を
促進し、野菜の主産地化を基本に
畑の利用を図るとしています。

農業生産基盤及 び近代化施設の 整備計画

農用地の用途別割合は、水田 64
畑 33、樹園地 1、その他 2%とな
っているが、現在一二〇〇haが区
画整理を完了しており、今後は高

大総地域については、栗山・高
谷両流域に広がる優良水田地帯を
圃場整備を基本に自立経営農家の
育成を目指した水田地帯としての
利用を図ると共に台地に広がる畑
地については、野菜の主産地化と
併せて農地の集団化を図り効率的
な畑地利用を行うとしています。

性能な農業機械の導入による生産
性の向上を目的とした圃場整備等
を促進し、稲作については良質米
の生産を、また畑作については当
地域の特産とも目される工芸作物
植木等の生産地化を確立すると
もに首都圏への安定した生鮮食糧
品の供給基地としての農業生産基
盤の整備と農業生産体制の確立を
目的とした近代化施設の整備を促
進し生産性の向上をはかるとして
います。

- 凡例
- 農用地 (Solid grey box)
 - 住宅地 (Stippled box)
 - 除外地 (White box)

国をささえる若い力
陸・海・空
自衛官募集
住民課へお問合せ下さい

町史シリーズ③ 上総介平良兼の伝説 その史的風土

古代末期、律令体制に抵抗して東国各地に叛乱が起ったが、中でも平将門の乱(九三五―九四〇)は京都貴族に重大な警告をあたえた。将門は桓武天皇の曾孫高望王の孫にあたり、下総国豊田郡に根拠をかまえ、毛野・利根両水系の乱流する関東平野の荒涼たる農村を背景に、英雄的な活躍をした。

比定する学説が一般的であった。古代史シリーズの最終回にあたって、町史編纂室では『良兼伝説』をとりあげ、その歴史性と虚構性へのアプローチを試みた。

良兼伝説

将門の叔父にあたる上総介平良兼は、国司として上総国一円に勢力をもっていたが、承平六年(九三五)両総の兵をひきいて、下野の国境で将門軍と戦った(『将門記』)といわれる。

従来の古代史研究の成果によれば、邯岡良弼・清宮秀堅など平良兼(上総介)の根拠地として上総国武射郡屋形村(横芝町屋形)を

宮を鎮守とし、寺院を来照院と称したといわれる。また、良兼にまつわる伝説としては、屋形部落に千年も続いているといわれる「獅子舞」があげられる。この獅子舞は、早魃で東国の人民が困窮したのを見かねた良兼が、都へ年貢の削減と救済を訴えた時、帝は物資・薬草のほかに神霊三体を授け、民生の安全を祈願したと伝えられる(獅子舞の縁起書)。

一方、良兼館跡の明確な位置は知られていないが、良兼の墓所と伝承される古墳が部落北方の地にあったが、昭和初期に至って破壊されたといわれる。以上が屋形部落に伝えられる「良兼伝説」の概要である。

居館地をめぐって

この平良兼の伝説は、海音寺潮五郎氏の連載小説『平将門』で全国的に有名になったが、すでに清宮秀堅等によって「屋形、蓋上総介平良兼所館。亦據郡司故資也。天慶亂、良兼取問道、自武射小路至神前津。舟入常陸、與国香會。」との研究成果が発表され、また邯岡良弼もその著書『日本地理志料』第十八巻の中で清宮説を紹介している。

海音寺氏は『将門記』の分析や『地名辞典』(吉田東伍)を検討された結果、その居館地について

「上界村というのはごく近世に改称されたと聞いていますが、上界の地は昔は蓮村に含まれていたのではないでしょうか。屋形部落はその境界に近い地点にありますね。小生が考えているのは、境目の近くにある「屋形」です」(地元研究者K氏への手紙)と谷津川付近の沼沢地に比定地を求めている。一方、将門研究家の赤城宗徳氏は、良兼はその性格から平坦地に居館をおくはずがなく、屋形部落では湿地帯なので多数の従類を居住させるに適當な耕地が得られないとして、横芝の北方台地(例えば坂田城跡など)に比定地を求めている(『将門地誌』毎日新聞社・昭47)。

また近年の城郭研究ブームの影響もあってか、屋形方面に「良兼館跡」探索に訪ずれる研究者もあり、最近では連沼五所神社付近の微高地も有力な比定地にあげられつつある。けれども大類伸編『日本城郭全集』No.3に報告の通り、良兼館跡の位置については全く不明であることに注意されたい。

伝承の再検討を

以上、平良兼の居館伝説をめぐる諸説について概観してきたが、根本史料「将門記」(承徳三年真福寺写本)には「不就所々関自上総国武射郡之少道、到着於下総国香取郡之神前。」のみの記述しか

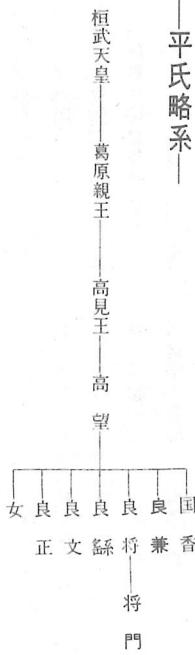
<横芝町史>予約募集中!

- 体裁 A5判・本文1000頁・ケース付
- 頒価 予価・2500円 (但、町民に限り1冊1500円)
- 注文方法 役場企画課町史係まで

なく、これを以て栗山川・神崎・利根川・水守と良兼軍の順路を想定し、ましてや「屋形居館説」を断定することはできない。そして何よりも、上総国府(市原市惣社)が考古学的に確認されている現在、良兼の居館地は市原方面であったとみるべきで、郷土の「良兼伝説」の取扱いは慎重に致すべきであろう。

ここで問題としたいのは、上総介良兼居館説の真偽ではなく、こうした「伝承」を生みだしてきた郷土の「史的風土」についての科学的検討である。「郷土史」の虚構性を科学的に検討し、その内なる歴史性を追究することである。これは「横芝町史」編纂の基本的なテーマでもあり、真に町民のための「地方史」構築への具体的な作業であると確信している。

(文責・町史編纂室)



横芝の碑

へその二十二

機転の地蔵後日物語

旧上堺の新島道貫と屋形南の境に建っている地蔵様の祠については「機転の地蔵」として本紙第四号で紹介したことがあります。最近この地蔵様の祠を補修したところ、胴体だけの石仏が見付かったという話を聞きましたので、その取材に出掛けましたが、近路を選ぼうとして方角を誤り、予定していなかった乃木大将揮毫の碑を取材してしまいました。という経緯は前号で御案内申し上げた通りです。

ところで、この地蔵様については「仇討の旅に出た武士が、或道端で病に苦しむ武士を助けたところ、その武士が尋ねる仇であった助けられた武士は、廻る因果に驚きながらも、切合いは避けようとしたが、誤って返り討にしてみました。予期しなかった結果、遂に武士を捨てた。里人は返り討になつた武士のため地蔵様を建立して後生を葬ってやった」という物語りは既に御存知のことと思います。さて、この物語りには後日談があるのです。折角建てたお地蔵様が、或日突然姿を消してしまい、数ヶ月経った。丁度返り討になつた武士の命日の頂、胴体だけのお

姿になって元の場所に戻っておられたのです。「誰かの悪戯であろう、勿体ないことだ」というので相談して又新しいお地蔵様を建立したところ、その晩の中に新しいお地蔵様の姿が消えて、胴体だけのお地蔵様が建っていました。人々は「これはきつと胴体だけのお地蔵様には魂が通っているのだ

しかし、明治、大正、昭和と文化が進むにつれて、参詣の人数も減ってしまいました。それでも「木や竹で造った刀を奉納してお祈りすると、困っている災難や問題が好転する」という風習だけは残っていました。その御本尊については次第に忘れられ、中には祠の中に一緒に祭られている稲荷様の靈験であると思っている人もある位でした。

終戦後世の中が荒廃した頃から再び転気の功徳を願う人が増えてきました。そのうちに匝瑳方面から訪れた人や、お嫁にきた老母等

してきました。地元の人々は「このお地蔵様は私達の先祖が建立したもので、このままでおくのは勿体ない、第一御先祖様に申訳ない」と誰からともなく祠改修の話が持ち上つたのだそうです。

補修の段取りとなつて祠の中を調べて見ますと、三体の地蔵様が祭られていて、その中の一体は、噂の通り胴体だけのお姿でしたので、吃驚すると共に、昔からの言

伝えが人々の話題として廻り「災禍を好転させたい、機会を掴みたい」という祈願をする人が増えていくという話です。

◎写真は、祠の補修中、一時外にお出ましを願つた胴体だけの地蔵

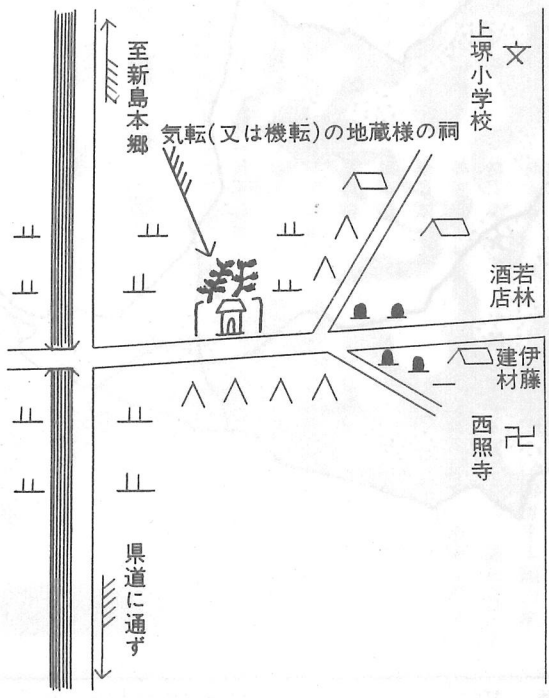


このままお祭りしておいた方が良い」というのでそのままの姿で安置申上げていたということです。その後、この不思議な物語りとお姿の地蔵様は「人々の運命を転じて俸を迎える功徳がある。」と云ひ伝えられ、一時は参詣の人並ぶ列を造つたこともあつたそうです。

が「昔、野田の田圃の中にお地蔵様の頭だけが祭られていた。上堺の方にその胴体だけのお地蔵様が祭られていて、一日の中に両方へお詣りすると願いごとが叶えられ」といふ伝えがある。という噂をしてきたことから、俄かに転気地蔵の靈験がクローズアップ

様(左側)と、信者奉納の大願成就の碑で、地蔵様の右側には、迫境信忠、左側には、上部が欠けていますが、×巳五月九日新堀村と刻まれています。現在、この地蔵様は他の二体の地蔵様と共に綺麗に補修された祠の中に祭られています。

手をつなぎ築こう
非行のない明るい社会
(社会を明るくする運動
実施委員会)



古い校舎よさようなら

なごりをおしむ在校生と 同窓生のつどい

旧校舎をなつかしむ会が七月十八日大給小学校体育館で行われました。

この会は、防音校舎が近く落成することに伴って、旧校舎が取壊されるため、大給地区区長会、大給小P・T・Aが計画したものです。

当日は、八時三〇分から同校児童の発表会が行われ「みなと」、「とんび」などの昔なつかしい小学唱歌が披露され、最後に「六十年もの長い間、ただ黙って私達を見守ってきてくれたこの古ぼけた校舎よありがとう」という六年生土屋留理さんの作文朗読等があり第一部が終了しました。

このあと第二部では、旧大給村時代の村長であった吉岡豊氏、土屋薫一

氏の両名が昔を偲んで色々な思い出を語ってくれました。多くの思い出を私達に残してくれたこの校舎は八月には取壊され、児童達は新しい防音校舎にうつってゆくわけですが、

この日参集した同窓生たちは、建設が進む新校舎と昔自分達が学んだこの古ぼけた校舎を見くらべ複雑な気持ちでいたことでしょう。

ありがとう旧校舎

六年 土屋 留理

「ありがとう。」
私は、今、学習しているこの古い校舎に、心からお礼を言おう。

建設のあゆみ

7月～8月

着工及び工事中の事業

- ①建築工事
横芝町共同利用施設新築工事 1,719.55㎡
- ②道路舗装工事
中台線 260m
老人ホーム入口 172m
栗山公営住宅内
北清水関場区内 451.5m
702.0m
- ③排水整備工事
栗山伸和会地先 214.5m
完成した事業
- ④道路舗装工事
両国新田一古川線 286m
栗山第一区内線 934.5m
栗山第三区内線 661m
屋形荒場線 337m
立合線 221m

雨にたたかれ、風にうたれて、約六十年もの長い間、だまって、ただだまって私達を見守ってき

てくれたこの古ぼけた校舎。美しかったペンキの色も消えて木目や節だけがきたなく、灰色に目立っている。

教室の天井は、いたずらに投げつけられたぞうきんのとやポールのあとがしみついて、こげ茶色の暗い教室が、もつと暗く感じる。入口の戸も、ガラス戸も、「ギシ、ギシ」と音を立てて、うまくすべらない。

でも、この古い校舎は、六十年もの長い間、ただだまって私達を見守ってきてくれた。

私たちの祖父母の時代、父や母

横芝俳壇

横芝句会七月例会

- 街を出て曲る葬列夏の草 土屋 粟水
- 一金五両の碑史や閑古鳥 石川 奇水
- 夏草に負けて疲れし鎌の腕 齊藤ちくろ
- 争いて番待つ孫や七夕馬の出来 若梅あやめ
- 鉄線を活けし小部屋に読みふける 藤代 ゆう
- 刈り草のなお生きつきと梅雨ながし 古谷 紅雲
- 暮の顔しげしげ見たり梅雨の庭 三枝 句城
- 夏草にうもれて笑める地蔵尊 林 義村
- 売れぬ荷の背中に重し日の盛る 池田 和代
- 夏草や十勝野尽くる所なし 安井ゆずる

の時代、そして私達へと受けつがれた校舎。

あの柱のキズはだれがつけたのだろう。あのカベのボールのあと

はだれがつけたのだろう。校舎はみんな知っている。

私たちが心におちつきのない時などは、「何をうかがっている、そんなにかかっている、学習がおくれるぞ」と、心のブレーキをかけてくれる。

この古い校舎にも、親友が一人いる。大給小のシンボル「くすの木」だ

この校舎が生れたころ、このくすの木も校庭に植えられたのだろう。この学校の卒業生はおよそ二万人だそうだが、みんなこの校舎とくすの木の親友に育てられたわけだ。

- 日盛りの横堀に寄りバスを待つ 伊藤 保人
- 夏草や帰化植物の花まじり 佐久間実枝子
- 夏草の中に暮いて鎌そらす 佐久間久子
- 梅雨寒し衣のかたづけままならず 木下 秀子
- 墓碑名も寂びて夏草丈高き 奥山 萌古
- 夏草の中にあやめは黄なりけり 戸部 澄江
- 夏草や種時きしかと思うほど 大石 秋羅
- 日盛りを日影にあえぐ放ち鶏 加藤 庄長
- 日盛りや木蔭に眠くせ乳母車 原 ひさし
- 水を撒く草花店や日の盛り 木下石果子
- 次回八月十一日午後一時半 兼題 終戦の日、日まわり

春になると卒業生を送り出し桜が咲くころは、かわいい一年生を迎える

そして、今は、私たちの目標になるまでに育った。その間中、くすの木と校舎は仲よく語り合っていただろう。

「こんど、旧校舎がこわされることを、一番悲しんでいるのは、校庭のくすの木かも知れない。

だって、親友がいなくなってしまうもの。」「さびしいな」

けれど、しかたのないことなんだ。年をとって、人間ならつえをつかなければ、立てないくらいカタカタになってしまっているのだ。

でも、人間は年をとって、おじいさん、おばあさんになってくると、そのしわの一つ一つに、今までどのように生きてきたか、その顔にでてくると思う。

たとえば、その人の顔を見ていると、いろいろな苦労をしていたり、りっぱなことをやりとげた人の顔は、おちつきに満ちていて、何でも話せる感じだ。それに人の心をひきつける。もちろん、この校舎もおちつきに満ちていて、いつも私達たちをやさしく見守ってきてくれた。

うれしい時、かなしい時、この古い校舎の思い出は、一生忘れられないだろう。

私たちは、らい年白く美しい新校舎から卒業する第一期生だけこの古い校舎は忘れられない。

「ありがとう旧校舎」
「さようなら旧校舎」